

物流生産性向上に係る取組について

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

2026年7月16日
北海道農政事務所
生産経営産業部 事業支援課

食品等物流合理化緊急対策事業について

物流の標準化に取り組む事業者が行う、標準仕様パレットの導入、デジタル化・データ連携、モーダルシフト等の実装の取組や、デジタル化、自動化・省人化に必要な設備・機器等の導入を支援します！

まずは、お気軽にご相談ください！

主な事業の内容

1. 物流生産性向上推進事業

標準仕様パレットの導入、モーダルシフト等の実装の取組や自動化・省人化に必要な設備・機器等の導入を支援します！

2. 物流生産性向上伴走支援事業

物流改善に取り組む者を対象に、産地等の課題に応じて物流の専門家等を派遣します！

事業の活用例

- ✓ 標準仕様パレットのレンタル費用の初年度分を補助します！
- ✓ 標準仕様パレットに適合した外装、モールド等の金型開発やラインの改修費用を補助します！
- ✓ デジタル化・データ連携等に必要なシステム開発費等を補助します！



【モールドの金型開発】



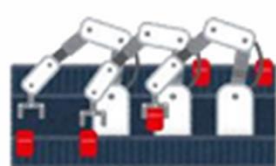
【選果ライン等の改修】



【伝票等の電子化】



【フォークリフトの導入】



【パレタイザーの導入】

取組のポイント

- ✓ 流通標準化ガイドライン等に基づき、物流の標準化に取り組む事業者が行う取組であること
- ✓ 流通合理化事業活動計画の認定を受けていることもしくは受ける見込みがあること

支援の対象者

- ①中央卸売市場又は地方卸売市場の関係事業者で構成する団体
- ②食品卸団体
- ③食品小売団体
- ④食品流通業者と企業組合、事業協同組合、運送事業者等により構成する協議会

補助率・上限額

- ✓ 物流生産性向上実装事業【補助率：定額、上限：4,000万円】
- ✓ 物流生産性向上設備・機器等導入事業【補助率：1/2、上限：1億^{※1}】

※1 1構成員あたり上限4,000万円

お問い合わせ

農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 物流生産性向上推進室
東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL 03-6744-2389
または、最寄りの各地方農政局等にお問い合わせください。



【事業に関するページ】



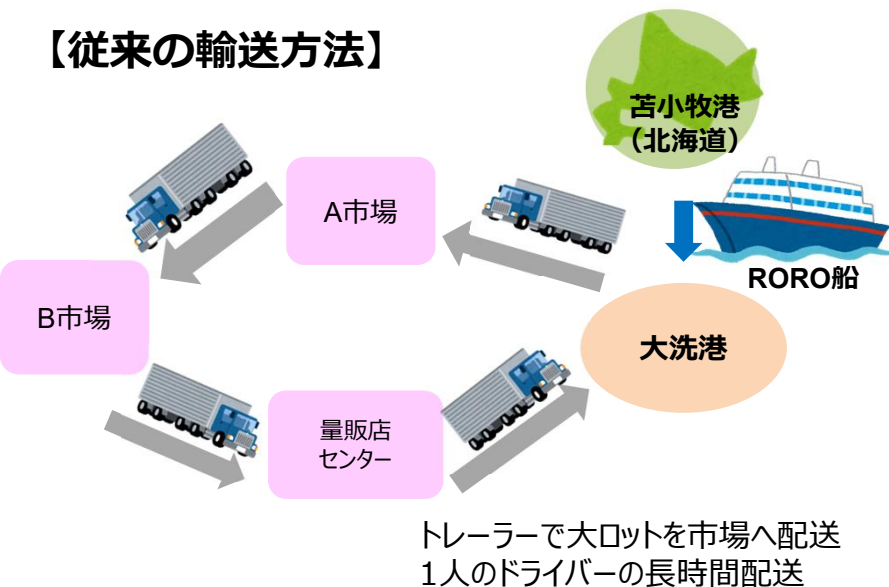
【お問い合わせ】

中継輸送の取組事例（北海道産青果物の長距離輸送）

【北海道移出農産物物流検討協議会】（サンコープランニング、ホクレン、JAようてい、JA道北なよろ、ベルグリーンワイズ）

- 大洗港から1台の20tトレーラーによる長距離輸送を1人のドライバーが担当
茨城県常総市に中継拠点（水海道市場）を設け、一次配送と二次配送に切り分ける取組を実施
（一次配送：大洗港→水海道市場、二次配送：水海道市場→関東各地）
- 大洗港発の20tトレーラーのドライバーは一次配送を担当（拘束時間は1～3時間）。
- 二次配送は、各市場や小売店のニーズに合った荷量やトラックで、随時実施（拘束時間は4.4時間）。
- 中継拠点では高機能冷蔵庫で青果物を保管。流通可能時期を数週間延長することが可能に。

【従来の輸送方法】



【新たな取組方法】



花きの荷役作業効率化の取組事例（カゴ台車による荷役負担の軽減）

【北海道花き流通生産性向上推進協議会】（札幌花き園芸株式会社、苫小牧中央花卉株式会社、はまなす花き株式会社他）

- 切花は「ラップ巻き」により結露することから平積みが主流で荷積み荷下ろしに計3時間程度、鉢物は荷姿の特性から棚板輸送が主流であり、「軒先集荷」を行うため、荷積み荷下ろしに計3時間程度かかる。また、トラックの調達は各市場が別々に手配をしているため、積載効率も悪い
- 「花き流通標準化ガイドライン」におけるハーフ規格のカゴ台車を300台導入
- カゴ台車導入により集荷及び荷下ろしの作業時間を50%以上短縮することを目標とする
- 集荷を札幌に一極集中させる

【従来の作業方法】



切り花の平積み



鉢物の棚板輸送

【新たな作業方法】



「花き流通標準化ガイドライン」におけるハーフ規格のカゴ台車導入



【輸送方法】

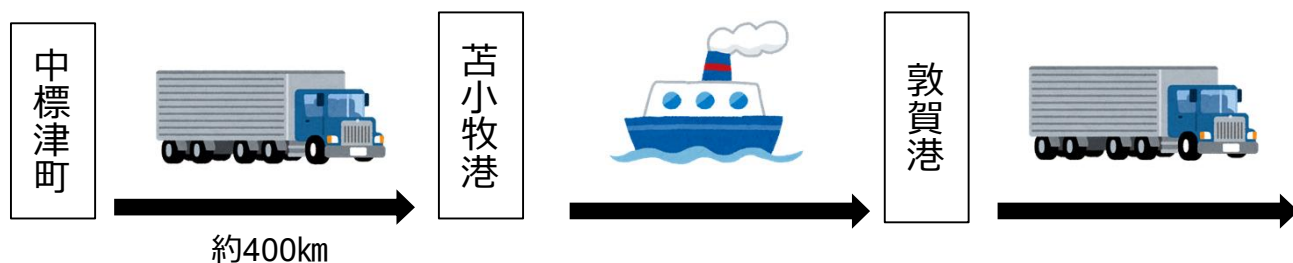


モーダルシフトの取組事例

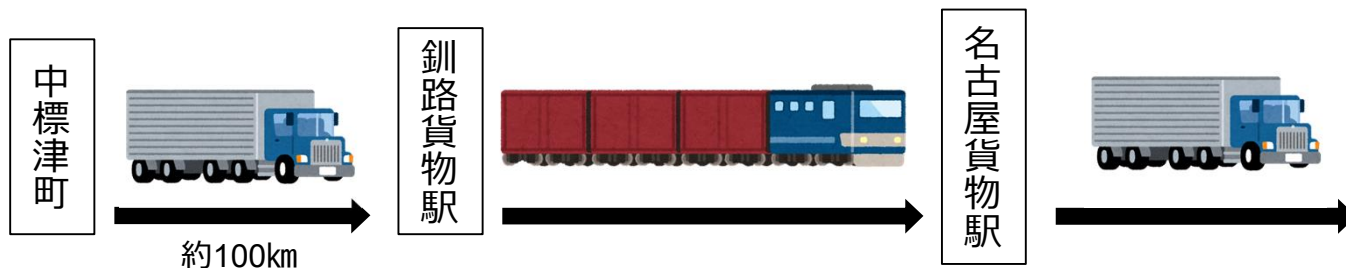
【生乳のモーダルシフト（鉄道輸送への切替え）】

- 2024年問題の影響で、中標津町から苫小牧港までは**長距離輸送**のため、トラック輸送が難しくなり、釧路貨物駅から**鉄道輸送に切り替える**ことで輸送力を確保
- 鉄道輸送に切り替え後は、トラックで輸送する時間が短縮され、**CO₂排出量が56%削減**したことや**トラックドライバーの運転時間が62.5%の削減**にも寄与

【従来の輸送モード】 トラック+船舶



【新たな輸送モード】 トラック+鉄道



効果（試算上）



- ・CO₂ 排出量56%削減
- ・トラックドライバー運転時間62.5%削減

食品等物流合理化緊急対策事業のうち

物流生産性向上伴走支援事業について

農水産品・食品の物流生産性向上、物流の標準化、基幹ルートの機能強化、地方港湾等の利用による新たな輸出物流の構築等、物流の問題に日々悩んでいる事業者に寄り添います！

まずは、お気軽にご相談ください！

主な事業の内容

● 物流生産性向上伴走支援事業

物流改善に取り組む事業者、産地等の課題に応じて
物流の専門家等を派遣します！



伴走支援活用事例

- ✓ 標準のレンタルパレットの有効的な活用方法について検討したい (青果卸会社)
- ✓ 卸売市場再整備にあたり、場内関係者と意見調整しながら、今の時代に即した整備内容の検討を行いたい (卸売市場開設者)
- ✓ 効率的な場内ピッキングのために在庫のあり方、配置を検討したい (食品卸会社)
- ✓ 各種手続きを整理し、タイムリーに食品輸出を行いたい (食品ベンダー)

など

事業の詳細、ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

問合先

(公財) 食品等持続的供給推進機構 業務部
(略称 : 食料システム機構)

TEL : 03-5809-2176

HP : <https://www.ofsi.or.jp/>

E-mail : logi-banso@ofsi.or.jp

